

大規模災害を想定した
対応訓練の実施

contents

- ・肝胆脾・消化器病センターの紹介
- ・地域連携研修会の報告と次回告知

山梨県立中央病院 医療連携 だより

報告

大規模災害を想定した 対応訓練を実施しました

当院では毎年10月に、県内で大規模災害が発生したことを想定した対応訓練を院内全体で実施しています。今年度は、当院職員だけでなく、看護学生、消防職員などにも参加していただくとともに、新たに他施設DMAT隊員にご協力いただくなど、総勢約400名で10月21日(土)に実施いたしました。

▼Items of training

主な 訓練項目

- ・災害対策本部の立ち上げ(設置)と運営
- ・来院患者のトリアージと被災者の診療
- ・電子カルテ稼働下での血液検査や放射線検査のオーダー
- ・ベッドコントロール、入院患者受入れ
- ・職員登録状況の把握
- ・透析患者、妊婦の受入れ
- ・HOT(在宅酸素療法)センターの開設
- ・他施設DMATの受入れ
- ・エレベータ使用不可時を想定した備蓄食料の運搬と入院患者の病棟移動
- ・災害ボランティアの受入れと活用
- ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)の入力 など

▼time schedule

訓練の タイム スケジュール

- 09:00** 山梨県内で震度7の地震が発生
院長・副院長等が参集し、幹部会議を実施
- 09:05** → 災害対策本部の設置を指示
- 09:30** 第1回 災害対策本部会議
被災者の来院開始(トリアージ開始)
- 09:30** HOT患者、透析患者、妊婦の来院・受入
DMATの支援要請
職員の登院状況の把握を実施
- 10:00** 大月市立中央病院DMAT到着
→ DMAT活動拠点本部設置(トリアージの支援を依頼)
- 10:15** 備蓄食料の運搬を実施(地下1階備蓄倉庫から8A病棟へ)
- 10:30** 第2回 災害対策本部会議
- 11:20** 第3回 災害対策本部会議
- 11:40** 訓練終了

▼State of training

当日の 訓練の様子

当院は、山梨県の基幹災害拠点病院に指定されており、災害時には医療機関の支援等を行います。HPで詳しくご案内していますのでご覧下さい。



救急搬送患者のトリアージ



災害対策本部会議



エアーストレッチャーを使用した
患者移動



大月市立中央病院DMATの
活動の様子

来年度以降も引き続き訓練を実施していくとともに、時代のニーズや変化に対応した訓練をおこなっていきと考えています。また、DMATの受援訓練や災害ボランティアの受入れ訓練も引き続き実施していく予定ですので、是非訓練にご協力ください。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

地域連携センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1
TEL.055-253-7111/FAX. (直通) 055-253-2903

Topics

肝胆膵・消化器病 センター の紹介

Hepatobiliary pancreatic disease center
Gastroenterology center established

肝胆膵・消化器病センター新設

平成29年4月、消化器疾患に関して消化器内科、外科（胃食道外科、大腸外科、肝胆膵外科）といった細分化された診療体制だけではなく、横断的な高度な専門診療を目的として肝胆膵・消化器病センターが新設されました。

山梨県でも人口の高齢化に伴う医療情勢の劇的な変化が進み、ゲノム医療、ロボット手術等、医療の高度化や地域医療連携といった分野への取り組みが重要となっています。

外科手術の分野で取り扱う疾患の約50～60%が消化器系といわれており（日本外科学会 手術全国登録NCD: National Clinical Database）、多くの方々にとって、こうした疾患に対する専門的な治療部門の設立は、とても意義深いものと思っております。

特に消化器の進行癌や難治性癌には、がん診療の中核病院（山梨県がん診療連携拠点病院）として取り組んでおり、臨床面では治療数も多く、また研究面でも学会での研究発表、論文発表数も増えています。（ゲノム解析センター共同研究）

今後とも、県民の皆様方に信頼され充実した高度医療をお届けできるように、肝胆膵・消化器病センター全員が一丸となって取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

肝胆膵・消化器病センター
統括部長

羽田 真朗



CHECK 2

肝胆膵・消化器病センター公開セミナー案内

日 時 : 毎原則として毎月第2月曜日・午後6時30分から

場 所 : 山梨県立中央病院2階 看護研修室

内科、外科合同での症例検討のほか、Expertによる講演や、当院が取り組む診療、研究内容等についての最新情報の提供を目的として、平成29年4月より肝胆膵・消化器病センター公開セミナーをスタート致しました。県内の医療機関の皆様にも参加して頂ける公開カンファレンスと致しました。お時間が許せば、是非足を運んで頂けるよう宜しくお願い申し上げます。



肝胆膵疾患センター

センター長 飯室 勇二

肝胆膵疾患センターでは、内科・外科が総合的に治療方針を決定することにより、multidisciplinary teamによる迅速かつスムーズな治療を目指しています。肝炎、胆石症、総胆管結石症、胆管炎、膵炎などの良性疾患から、肝癌、胆管癌、胆嚢癌、膵癌などの悪性腫瘍まで、幅広い疾患を扱い、内科による内視鏡的治療、インターベンション治療、化学療法から、外科における手術療法まで、一貫した治療を行っています。外科領域では、進行病変に対する拡大手術を行う一方、低侵襲な鏡視下手術に力を入れています。鏡視下手術の増加により、在院日数の短縮・早期社会復帰を可能とし、患者さまのベネフィットに貢献しています。新たに施設基準を満たした腹腔鏡下肝切除術では、区域切除・葉切除も可能な状況であり、入院期間はほぼ1週間以下となっています。また、多発肝癌に対する局所療法（ラジオ波焼灼術など）と腹腔鏡下肝切除を組み合わせたハイブリッド治療なども行っています。貴院よりご紹介の労をお取りいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

消化器病センター

センター長 細田 健司

当センターの業務は多岐に渡っていますが主に以下の業務を行っています。

1. 消化管疾患に対する内視鏡治療

- ・ 全国最短パスを用いた早期がんに対する粘膜下層剥離術（ESD）
- ・ 消化管出血に対する24時間体制での緊急内視鏡
- ・ 悪性腫瘍による消化管閉塞（主に大腸、食道）に対するステント挿入
- ・ 小腸疾患精査目的でのダブルバルーン小腸内視鏡、カプセル内視鏡

2. 消化器進行がんに対する化学療法、免疫治療

3. 消化管疾患に対する外科治療

- ・ 消化器系緊急疾患に対する治療（Acute Care Surgery）
- ・ 一般外科治療（ヘルニア手術等）
- ・ 消化管悪性腫瘍（食道癌、胃癌、大腸癌等）に対する外科治療、とくに胸腔鏡、腹腔鏡下手術を中心とした低侵襲手術

国内で胃癌に対して認可もない免疫チェックポイント阻害剤ニボルマブ（抗PD-1抗体）を導入し良好な成績を上げています。今後様々な新しい抗腫瘍剤の登場が見込まれています。当院はいち早く導入し進行がんに対する抗がん剤治療のより一層の充実を図っていきます。外科治療では鏡視下手術の積極的な導入により低侵襲化を目指しており、さらに患者さまの早期の社会復帰を可能とするため努力していきます。

ゲノム解析センターとの共同研究について

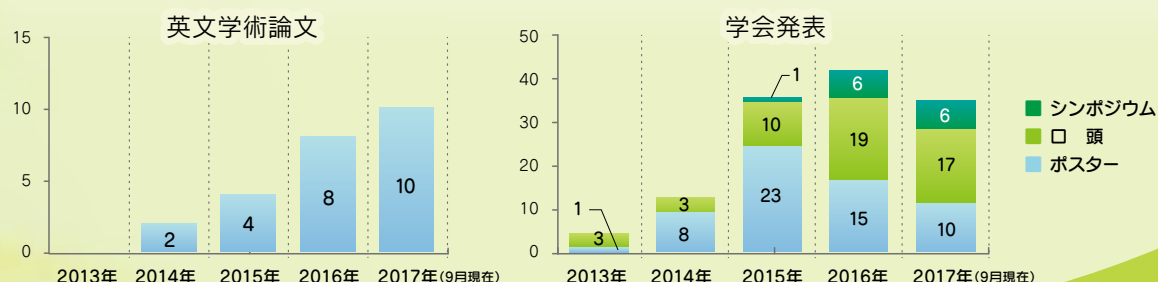
センター長 望月 仁、弘津 陽介、雨宮 健司

当院では、消化器関係のゲノム解析共同研究を以下のように行っています。

- ・ 内視鏡的切除（ESD等）した早期胃癌、リンパ節転移した進行胃癌
- ・ 異時性・同時性多発胃癌の解析
- ・ 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）のNUDT15遺伝子多型とチオプリン薬剤副作用
- ・ 大腸癌の臨床病理所見とゲノム異常の関係

ゲノム医療への展開としては、胃癌の治療で免疫チェックポイント阻害剤ニボルマブ（抗PD-1抗体）が承認されました。ゲノム異常が多数起きている場合、免疫チェックポイント阻害剤が効きやすいことが知られています。当ゲノム解析センターでは、既に免疫チェックポイント阻害剤が承認されていた肺癌を対象に研究を進め、血漿中の変異DNAを調べることで、治療開始後2週目に効果を示したか判断することができることを解明し、国際的英文論文として発表しました（Iijima et al. European journal of cancer 2017, in press）。

今後、消化器癌にも対象を広げ、ゲノム異常を解析し、臨床に還元していくことが期待されます。



地域連携研修会が開催されました



今年度も、院内・院外に向けた連携のための研修会を定期的に開催いたします。その都度ご案内させていただきますので、是非ご参加ください。

研修会の情報はホームページでもご案内しています。併せてご覧ください。
<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

8.31 THU

「肝臓外科領域における新たな潮流」

平成29年8月31日(木)、当院多目的ホールにおいて、地域連携研修会を開催しました。

当院肝胆膵外科の飯室勇二医師が、「肝臓外科領域における新たな潮流」と題して講演いたしました。

肝臓がんの治療方法として、いくつかの症例検討を通して腹腔鏡視下手術などの手術方法の紹介もおこないました。

参加者からは、「症例を交えた講演でわかりやすかった」と感想を頂きました。

次回研修会のご案内

日時：H29年 12月14日(木)／19:30～20:30

場所：山梨県立中央病院 2F 多目的ホール

甲府市富士見1-1-1 055-253-7111

題名：『脳卒中の診断、急性期治療と
リハビリテーション連携』

講師：山梨県立中央病院 脳神経外科

中央診療統括部長 中野 真 医師

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

1

かかりつけの 医院を受診

紹介状をもらってください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00～17:00 月～金(祝祭日除く)

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)